

令和2年度 富山市高齢者総合福祉プラン地域懇談会 議事録
(8月21日(金) 婦中ふれあい館分)

1 日 時 令和2年8月21日(金) 午後2時～午後3時

2 場 所 富山市婦中ふれあい館2階 大研修室

3 参加者

【市民等】15名

【事務局】高畠福祉保健部次長、藤井福祉保健部参事(婦中地域福祉課長)、土地長
寿福祉課長、藤井八尾地域福祉課長、谷川保健所地域健康課主幹、高島
介護保険課課長代理、大田保健所保健予防課係長

4 内 容

- (1) 次長あいさつ
- (2) 出席者紹介
- (3) 議 事

5 質疑応答

市民等

ホームページに掲載してある第7期計画の進捗状況を確認したところ、おでかけ定期券の申込者数は8割を超えていた。申込者数も重要だと思うが、利用者がどのくらい使っているかということも大切だと思う。現在9時から17時という制限があるが、これを18時までに延長することはできないだろうか。我々旧町村に住んでいるものの滞在時間を長くすることはできないだろうか。現在の利用時間では、まちなかでの研修が16時に終了し、アンケートの記入等をするとバスの本数も少ないこともあり、17時には間に合わない。また、現在富山市の起点は総曲輪となっているが、ファボーレを第2の起点として増やすことができないだろうか。フレイル予防のためにもお願いしたいと思う。

今年度から保険者機能強化推進交付金の予算が2倍となり、400億円になった。この交付金は介護予防のための予算だと県の会議で聞いたが、この交付金を利用して介護予防に努めてほしい。我々も地域でいきいきサロン等を実施しているが、足腰が弱くなったため外出する機会が減り、人が集まらなくなってきているという現状がある。主催者の中にはマイカーで迎えに行っている方もおられるが、事故が起きたときの問題もあり、私自身は実施していない。この問題が解決すれば、あと何人かは誘えるのではないかと思っている。保険に加入している車を配置に予算を投じていただくことはできないだろうか。

私の知り合いの方でまちなか総合ケアセンターからドクターが来て在宅診療を受けている方がおられる。資料にも掲載があったように自宅で最期を迎えたいと考えている方が多く、これを推進していくためにもまちなか総合ケアセンター

の強化が必要だと思う。地域包括ケアシステムという言葉は分かっているが、具体的にどのように構築していくべきなのかを考えるべきだと思う。先進的な南砺市では山城先生や清水先生が中心となって、10年かけて構築した。富山市でも力を入れて行う人が必要だ。まちなかや包括の保健師が中心となってまちづくりができればいいなと思っている。保健センター中心に実施している年1回まちづくり会議で、地域包括ケアシステムについて議論をすればよいと思っているが、関係者が遠慮しているのかあまり議論はされていない。

事務局

おでかけ定期券の利用時間や起点についてですが、交通事業者との調整も必要であるため、所管している活力都市創造部にこのような意見があったとお伝えしたい。

保険者機能強化交付金はどんな事業を行っているかというチェック項目を国に回答し決まるものである。ご指摘のとおり介護予防等の事業に充てているものである。人が集まりにくいいため車の補助をお願いできないかという意見についてはまた検討したいと思う。

まちなか総合ケアセンターでは16km圏内で訪問診療を行っている。まちなか総合ケアセンターの医師を増やす方法もあるが、まちなか総合ケアセンターでは医学生等の受け入れを行い、人材育成も行っている。直営はもちろん、裾野を広げるといふことも行っている。

市民等

最近、八尾地区での買い物について困ったことがあった。八尾にあるスーパーからバスが出ていたが、そのバスがなくなってしまった。困った方たちが民生委員に買い物に連れて行ってくれないかと相談してきたが、民生委員の中には仕事を持っている方もおられ、民生委員が買い物に連れていくことは難しい。八尾地区は山間部でひとり暮らししている方も多く、買い物に関することを検討していただけないだろうか。

また、除雪についての相談も多い。80歳を過ぎた高齢者が除雪をすることは難しく、私は班長をお願いして、その班内で協力し、除雪をお願いしている。しばらくは雪が少なかったため、問題はなかったが、いつ豪雪になるか分からないので、除雪について考えてほしい。

市民等

社協から自治振興会に声をかけたいと思っている。福祉推進員、町内会、自治会が集まって、ケアネット活動について理解を深めたい。町内会単位で買い物や除雪をお願いしたいと思っているが、なかなかできないのが実態である。部署は違うと思うが、自治振興会を通じて広げていただけるとありがたいと思う。

事務局

買い物難民を支援する方法は2つあり、その方を運ぶための交通手段を整える方法とアルピスが実施しているようなこちらから出向き配達するという方法である。八尾地区の現状を関係部署に伝えたいと思う。

除雪については、建設部でも除雪機械等に対して補助制度を出しているが、担い手の確保の問題もあることから福祉にも関係していることである。富山市は地縁のつながりが強いこともあり、自治振興会からのアプローチも必要だと思う。今回の意見を市民生活部に伝えたいと思う。

(以 上)